

第六十三	十月廿九日	酒類稅則當分地方適宜ヲ以處分件	間届	十二月十七日
第六十四				
第六十五	十二月十九日	屯田兵廢疾者帰国多給与件	間届	九年一月十八日
第六十六	全	附屬瀛船函館丸号大砲設備件	全	十二月廿七日
第六十七	十二月廿五日	クリル諸島ニ移新置件	第二号ニ以テ其後 九年一月廿日	
号外	四月八日	黒田長官樺太出張ノ件	伺之通	四月十四日
乙 第六十三号	四月廿二日	臘廓密獵取締ノ件	海軍省ニ相達候事	五月五日
号外	十月廿日	中判官長谷部展連振替賞賜ノ件	間届	十二月十四日
全	全	五等出仕時任為基慰勞ノ件	全	

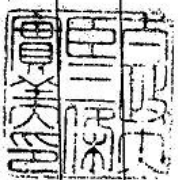
甲第 三十六号

開拓使職制及ヒ事務章程曩ニ已ニ調査ヲ經大
 体粗具ルト雖開成ノ進歩ニ從ヒ事務日ニ端緒
 ヲ生シ理論ノ能ク尽ス所ニ非サルヲ以テ實地
 ニ就キ且施行シ且訂正シ歲月ノ久ヲ經テ乃チ
 其確定ヲ得今此ニ開申旨ヲ候ス夫ノ屯田ノ事
 務ノ若キ其章程亦當サニ附呈ス一キ者ナリ今
 方ニ之ヲ實地ニ驗ス其法定リ事行ハルノ日
 ヲ待チテ之ヲ進呈セレントス謹テ進止ヲ取ル
 明治八年五月十二日
 開拓長官黒田清隆

太政大臣 三條實美 殿

同ノ趣ハ別紙ヲ以テ相渡候條諸局ノ
規則ハ其使適宜ニ可取テ此等事

明治八年十一月廿五日



五ノ五

事務章程

第一章 綱領

第一條 北海道并樺太開拓一切ノ事務ヲ管

内ノ民政ヲ總掌ス其職ヲ分テ事ヲ理

スル各其制アリ其章アリ互ニ相侵越

スルヲ得ス是ヲ開拓使職制事務章程

トナス

第二條 使中ノ事務ハ記録民事會計工業物産

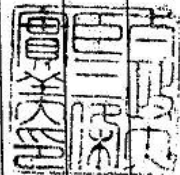
學務刑法七局ヲ置之ヲ要分ス

第三條 管内分スル四大部トシ札幌本廳函館

開拓使

同ノ趣ハ別紙ヲ以テ相渡候條諸局ノ
規則ハ其使高宜ニ可取計此事

明治八年十一月廿五日



開拓使職制事務章程

第一章 綱領

第一條 北海道并樺太開拓一切ノ事務ヲ管

内ノ民政ヲ總掌ス其職ヲ分テ事ヲ理

スル各其制ヲ其章アリ互ニ相侵越

スルヲ得ス是ヲ開拓使職制事務章程

トナス

第二條 使中ノ事務ハ記録民事會計工業物産

學務刑法七局ヲ置之ヲ要ス

第三條 管内分テ四大部トシ札幌本廳函館

開拓使

根室樺太三支廳ヲ置ク別ニ東京出張

所ヲ設ク

第二章 職制

第四條

長官

第一 使中ノ事務ヲ總判シ其官實ヲ統

率スルヲ掌ル

第三 管掌ノ事務ニ於テハ大臣ニ對シ

其當否ヲ辨論スルヲ得而其事務

ヲ施行スルニ當テハ

天皇陛下ニ對シ擔保ノ責ニ任ス

第三 奏任以上ヲ進退ハ政官ヨリ之

ヲ命スト雖モ其才否ヲ察レ之ヲ

具状ス

第四 判任以下ハ判官幹事ノ具状ニ依

リ其能否ヲ甄明シテ之ヲ黜陟ス

次官

第一 職掌長官ニ亞ク

第二 長官ヲ欠キ及ヒ缺席ノ時ハ其事

務ヲ代理ス

大判官

中判官

少判官

第一 使中ノ事務ヲ糾判スルヲ掌ル

第二 公文受付ヲ提掌ス

第三 考課状ヲ檢閲シテ之ヲ長次官ニ

稟議ス

第四 事務擔當ノ制限ニ因リ長官ニ對

シ之ヲ調理スルノ責ニ任ス

幹事

權幹事

第一 諸局ニ長トシテ其事務ヲ幹理ス

第二 判任以下ハ能否勤惰ヲ監視シ判官

ト咨議シテ其黜陟ヲ具状ス

大主典

權大主典

中主典

權中主典

少主典

權少主典

文案ヲ勘署スルヲ掌ル

史生

公文ヲ繕寫スルヲ掌ル

使掌

應接傳達等ノ事ヲ掌ル

第三章 章程

本使總理タル所ノ事務ニ項ニ分ツ左ノ如シ

第五條 國郡經界ヲ改定スル事

第六條 國郡ノ名稱ヲ定メ或ハ變更スル事

第七條 文廳ヲ廢置スル事

第八條 驛遞ヲ廢置シ郵便ヲ開設スル事

第九條 租稅ノ法ヲ定メ或ハ之ヲ改正スル事

第十條 居留地ノ外土地ヲ外國人ニ貸與スル

事

第十一條 社寺ヲ廢置スル事

第十二條 車道ヲ開キ電信線ヲ架スル事

第十三條 燈明臺及標標ヲ設クル事

第十四條 港津ヲ開閉シ稅則ヲ更改スル事

第十五條 外國人ヲ傭使シ及ヒ給料ヲ増減スル

事

第十六條 官立學校ヲ廢置スル事

第十七條 新法ヲ創立シ舊規ヲ更正スル事

第十八條 旌表ノ典ヲ行フ事

第十九條 新發明ノ物品專賣ヲ許ス事

第二十條 判任官ハ懲役一年以上庶民ハ終身懲

役以上處刑ノ事

但シ函館裁判所々管ハ此限ニ在ラ

第二十一條

以上上奏ノ制可ヲ經之ヲ施行ス其諸省

ニ干渉スル者ハ預メ之ヲ商議スル者ト

第二十二條

村邑ヲ創置或ハ名稱ヲ變更スル事

第二十三條 戸籍ヲ查定スル事

第二十四條 道路ヲ築修繕スル事

第二十五條 民業ヲ勸誘シ物産繁殖ノ方法ヲ設ル

事

第二十六條 士民ノ移住ヲ許可シ土地ヲ賣買スル

事

第二十七條 鑛山ヲ開採スル事

第二十八條 溝渠ヲ開鑿スル事

第二十八條

河流ノ填淤ヲ疏浚スル事

第二十九條

人馬船梁ノ賃錢ヲ査定スル事

第三十條

種樹園ヲ設ケル事

第三十一條

牧場ヲ開ク事

第三十二條

工場ヲ設クル事

第三十三條

公私學校廢置ノ事

第三十四條

廳廡ヲ營繕スル事

第三十五條

貸附方法ヲ設クル事

第三十六條

物産販賣ノ法ヲ立ル事

第三十七條

會社ヲ設クルヲ許ス事

第三十八條

定則ニ從ヒ移民ニ給與スル事

第三十九條

豫備倉ヲ設ケ凶荒ヲ救濟スル事

第四十條

定規ニ照シ窮民ヲ賑恤スル事

第四十一條

定規ニ照シ褒賞ヲ行ノ事

第四十二條

選卒廢置ノ事

第四十三條

需用ノ物品外國ヨリ購入スル事

第四十四條

一切ノ租稅期ヲ逐ヒ之ヲ收入シ大藏省納受ノ手續例ニ依リ之ヲ彙入スル事

第四十五條

定額金并收入ノ租稅ヲ以テ開拓ノ施

設緩急其宜ヲ得セシムル事

第四十六條 判任官以下事務ノ閑劇ニ因リ之ヲ増減スル事

第四十七條 判任官ハ懲役百日以下庶民ハ懲役十年以下廢刑ノ事

但シ函館裁判所々管ハ此限ニ在ラス

以上便宜施行シ然ル後其事件ニ依リ之ヲ上奏シ或ハ之ヲ諸省ニ報ス

第四章 分局章程

第四十八條 記録局

第一 奏請ノ文案院省廳府縣及文廳ノ文務官員ノ履歷例格ノ考查文書ノ編纂外國人通譯等ノ諸務ヲ掌ル

第二 幹事正權一員ヲ以テ局長トス局中ノ官員ヲ管督シ各課ヲ總括シ事必ス長次判官ニ稟議シテ處分ス其定例成規アル者ハ便宜施行ス下五局之ニ同シ

第三 局中分ツテ公文受付履歴考査編輯外事六課トス

第四 主典以下ヲ以テ各課ニ任ス課中ノ事務必ス局長ノ指揮ヲ經諸文書總ヲ其檢印ヲ署シ擅ニ施行スルヲ許サス下五局之ニ同シ

第四十九條 民事局

第一 産業勸誘及地理戶籍驛遞電信郵便警察等ノ諸務ヲ掌ル
第二 局中分ツテ勸業地理戶籍驛遞警察

五課トス

第五十條 會計局

第一 金穀ノ出納及ヒ租稅用度貸金等ノ事ヲ掌ル
第二 局中分ツテ檢査出納租稅貸付用度統計六課トス

第五十一條 工業局

第一 道路堤防ノ築作官廨倉庫ノ營繕及器械製作等ノ諸務ヲ掌ル
第二 局中分ツテ土木營繕二課トス

第五十二條 物産局

第一 鑛山ノ開採産物ノ採集及製煉等ノ事ヲ掌ル

第二 局中分ツテ鑛山製煉博物三課トス

第五十三條 學務局

第一 學政ヲ督レ學校病院ノ事ヲ掌ル

第二 局中分ツテ督學理事二課トス

第五十四條 刑法局

第一 刑罪ヲ判シ訴訟ヲ理シ囚獄ヲ監スル等ノ事ヲ掌ル

第二 局中分ツテ刑聽訟囚獄三課トス

第五章 記録局分課章程

第五十五條 公文課

第一 上奏請旨ノ文案院省廳府縣及文廳ノ文移ヲ掌ル

第二 管掌スル簿書十一部左ノ如シ

制旨録 附副本 稟裁録 附副本

申奏録 文移録 院省廳府縣各部

文廳文移録 各部 伺録 各文廳諸

届録 各文廳諸 布告録 附達書

布達錄 附達書。諸省答詳。

本使布達錄 附達書。管内府縣各部。

諸課文移錄

第三 制旨下ル毎ニ寫シテ制旨録副本ニ

編ミ正本ハ之ヲ藏ス

第四 進正ヲ取り上裁ヲ經ルノ文書ハ稟

裁録ニ編ミ其原稿ヲ副本トナシ朱

批ヲ寫入ス唯事由ヲ開申スル者ハ

之ヲ申奏録ニ編ム

第五 允公文ヲ草スル案成テ後長次判官

ノ檢印ヲ經淨寫シテ受付課ニ付ス

第六 院省廳府縣及文廳ニ往復スルノ文

書ハ各部ヲ分テ之ヲ文移録ニ編ム

第七 各文廳各局稟議申請ノ文書ハ正副

二通ヲ出サシメ議判了テ後指令ヲ

朱記シ其副ハ伺録ニ編ミ事具狀ニ

止ル者ハ之ヲ届録ニ編ム

第八 布告達書ハ其番號ニ從ヒ之ヲ綴リ

布告録及達書録トス諸省布達達書
モ亦之ニ準ム

第九 本使ヨリ發スル所ノ布達違書ハ類

ニ從ヒ部ヲ乱ツテ之ヲ録ス

第十 奏陳布達ハ長官ノ名ヲ署シ院省廳

府縣ノ文移ハ長官或ハ判官ノ名各

文廳諸局ハ判官或ハ局長ノ名ヲ以

テス

第十一 本課ヨリ各文廳諸局課往復ノ文書

ハ之ヲ諸課文移録ニ編ム各課此冊

子アル者ハ皆之ニ準ス

第六條 受付課

第一 往復ノ文書ヲ受付スルヲ掌ル

第二 管掌スル簿書四部左ノ如シ

公文事目帳 受付各部 檢印録 諸課各部

遞付録 院省廳府縣
文廳各部

傳呼録

第三 凡公文ノ受付其題號月日ヲ公文事

目帳ニ記ス

第四 稟議申請ノ文書ヲ出納シ之ヲ檢印

録ニ標記ス

第五 公文ヲ送致スルハ其番號月日ヲ遞

付録ニ記シテ之ヲ發ス

第六 官吏士民ヲ呼出ス片ハ其氏名月日

ヲ傳呼録ニ記ス

第五七條 履歷課

第一 使員進退及典禮ニ属スル文書ヲ管

シ給仕用違小使等ヲ督視シ官印鎖

鑰等ノ事ヲ掌ル

第二 管掌スル簿書十三部左ノ如シ

職員録 使員進退録

履歷録 履歷短冊

使員分課表 任解文移録

使員願伺届表 辞令録 官記義嗣
賞賑恤各部

参廳簿 取裁録

本課届録 諸課文移録

規則編冊

第三 職員ノ任解ヲ查シ職員録ヲ改正シ

毎月五日二十日兩次之ヲ史官ニ致

ス

第四 使員ノ任解轉課出張及ヒ歸郷病廢

等ノ月日ヲ查シ進退録ニ記ス

第五 使員ノ本貫年齢及其履歴ヲ詳記シ

ラ履歴録トシ履歴短冊ハ新任アル

毎ニ本人ヨリ徴収シテ之ヲ編ム

第六 各局ノ分課ヲ審ニシ使員分課表ヲ

作ル

第七 判任以下ヲ採用スル先ツ其管轄或

ハ奉仕ノ廳ニ移咨シ解官ハ其本貫

ニ報知シ之ヲ任解文移録ニ編ム

第八 任解出張等アル毎ニ其月日ヲ審ニ

シ検査課ニ録送ス

第九 解免アルハ其在职ノ年月ヲ點檢シ

賞賜ノ手續ヲナス

第十 使員身上ニ関スル所ノ文書ヲ編テ

使員願伺届録トス

第十一 褒賞賑恤及承嗣等戸籍課ノ申牒議

判ヲ經タル者ハ其辞令ヲ作り各之

ヲ分記ス

第十二 使員ノ参關及ヒ公事他出等参廳簿

ニ記シ局長ノ檢閲ニ供ス

第十三 本課ノ事務議判ヲ請フ者ハ之ヲ取

裁録ニ編ニ事具状ニ止ルハ之ヲ届録ニ編ハ各課此冊子アル者ハ皆之ニ準ス

第十四 成規定例該課ノ檢考ニ供スル者ヲ集メ規則編冊トス各課此冊子アル者ハ皆之ニ準ス

第十八條 考查課

第一 例格ヲ考覈シ議案ヲ審査スルヲ掌ル
第二 管掌スル簿書七部左ノ如シ

取裁録

本課届録

規則編冊

諸課文移録

擬案録

諸表彙輯

期程撮記

第三 規則ヲ創立シ或ハ釐正スル事アル

ハ各課調査スル所ノ原案ニ就キ例

格ニ考據シテ之ヲ擬定ス

第四 各課編成スル所ノ諸表ヲ彙輯シ事

務施行ノ實際ヲ檢スルニ供ス

第五 事務施行上ニ期限アル者及時日ヲ